

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
22111	通信指令業務	消防局	通信指令課	シートA	2
22113	情報通信施設機器保全事業	消防局	通信指令課	シートA	3
22113	消防通信指令管制システム管理事業	消防局	通信指令課	シートA	4
22113	松山圏域消防指令センター整備事業	消防局	通信指令課	シートB	5

令和4年度	部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当グループ名	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202		
	部等長名	金澤 英雄	課等長名	井上 隆二	リーダー名	主幹	久藤 裕之	担当者名	主任	野上 孝之
令和3年度	部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当グループ名	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	池田 篤司	リーダー名	主幹	久藤 裕之	担当者名	主任	野上 孝之

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	通信指令業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	-		
取り組みの柱	高度な専門知識が必要な特殊災害への対応や救命率向上につながる救急活動の質の向上のため、人材の育成などを図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第6条						
事業の目的(どのような状態にするか)	市民から災害等の119番緊急通報を受け付け、出動指令を迅速かつ的確に行うことで、市民の生命・身体及び財産を災害等から保護する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成2年4月に消防局の機構改革を行い、通信指令課を新設し、消防通信指令管制システムが完成したことに伴い事業を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市民から災害等の通報を受け付け、災害場所の決定、災害内容に応じた消防・救急車両の選別をして出動指令を行う。 火災発生時に、メール配信システム「まつやま防災メール」で、市民へ情報提供を行う。 「FAX119」やインターネットを利用した「メール119」や「Net119」など、災害時要配慮者向け通報システムで災害通知を受けることで、通報のバリエーション化を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	2	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		常備消防費		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				39,007		38,447		36,627	
決算額(B)(単位:千円)				37,355		37,211		36,627	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			37,355		37,211		36,627	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算				通信運搬費:17,315千円 委託料:14,152千円		通信運搬費:17,774千円 委託費:13,140千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による増あり					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,652		1,236	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	119番通報の受信と出動指令、消防無線統制 災害情報収集のための通信回線等の維持管理 「まつやま防災メール」による市民への火災発生情報発信					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	1 通信回線や無線など機器の安定稼働によって、確実な情報の受信、指令、事案管理等を実施 2 保守委託による点検のほか、職員による点検も取り入れる等機器の維持能力の向上 3 まつやま防災メールによる市民への各種情報発信を継続して実施		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	1 各種災害に迅速かつ的確な対応を実施し、被害軽減及び人命救助などに貢献した。 2 心肺停止などの重篤な状態の傷病者を発見して119番通報を行った市民へ、適切に口頭指導を実施し、救命率の向上に貢献した。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	要配慮者向け通報システムの普及啓発		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		要配慮者向け通報システムの新たな普及啓発方法の検討	
R4年度の目標	119番通報の確実な受信と適切な出動指令 要配慮者向け通報システム継続使用のための今後の方向性決定		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		119番通報の受信と出動指令、消防無線統制 災害情報収集のための通信回線等の維持管理 「まつやま防災メール」による市民への火災発生情報発信	

令和4年度	部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当グループ名	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202		
	部等長名	金澤 英雄	課等長名	井上 隆二	リダー名	主幹	久藤 裕之	担当者名	主任	野上 孝之
令和3年度	部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当グループ名	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	池田 篤司	リダー名	主幹	久藤 裕之	担当者名	主任	野上 孝之

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	22113	情報通信施設機器保全事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実				市長公約				
取り組みの柱	消防救急無線や映像伝送機器、消防通信指令管制システムなどを活用し、情報収集・伝達能力の向上を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		消防組織法第6条							
事業の目的(どのような状態にするか)	無線通信機器等の情報通信施設機器の性能を保持するため、機器の更新や法定点検を行い、災害発生時の即応体制を確保する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	災害発生時の消防通信の即応体制を確保するため、無線機等の情報通信施設機器の機能を常に確保することが必要である。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	無線機器等の情報通信施設機器の重要物品等の更新・保守・点検等を行う。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成	2	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	消防施設費	R3予算措置時期	当初
				項	目				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				2,488		2,941		2,114	
決算額(B)(単位:千円)				2,442		832			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			2,442		832		2,114	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						中央署非常用自家発電機蓄電池交換:617千円		各種無線機等修理:1,300千円 無線局再免許申請:813千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		46		2,109	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	通信施設の点検・維持管理 無線局免許更新									
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		当初の計画より安価に事業を行うことができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		安定した通信体制を維持することで市民の安全安心を確保している。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	通信施設の老朽化				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		通信施設の老朽化に伴う中長期的な改修計画の検討			
R4年度の目標	通信施設の適切な維持管理				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		通信施設の点検・維持管理 無線局免許更新			

令和4年度	部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当グループ名	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202		
	部等長名	金澤 英雄	課等長名	井上 隆二	リーダー名	主幹	久藤 裕之	担当者名	主任	野上 孝之
令和3年度	部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当グループ名	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	池田 篤司	リーダー名	主幹	久藤 裕之	担当者名	主任	野上 孝之

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	22113	消防通信指令管制システム管理事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実				市長公約	-			
取り組みの柱	消防救急無線や映像伝送機器、消防通信指令管制システムなどを活用し、情報収集・伝達能力の向上を図ります。					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第6条								
事業の目的(どのような状態にするか)	消防通信指令管制システムを使用して、火災・救急等の災害発生時での119番通報の受付から消防隊の出動指令までの一連の操作と現場活動支援などを効率的に行い、迅速かつ確かな消防・救急業務を遂行する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成25年度に策定した「消防通信指令管制システム整備基本計画」に基づき、平成26年度にシステム構築・整備し、平成27年度から運用を開始した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	消防通信指令管制システムを構成する機器等のリース契約、システム運営・維持管理								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成	26	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	消防施設費	R3予算措置時期	当初
				項	目				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				140,694		62,370		61,053	
決算額(B)(単位:千円)				132,285		61,519			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			132,285		61,519		61,053	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						消防通信指令管制システム機器リース料:55,606千円		消防通信指令管制システム機器リース料:55,606千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		8,409		851	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	消防通信指令管制システムのリース保守契約による維持管理 位置情報IP-VPN回線変更に伴う指令システム改修									
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		当初の計画より安価に事業を行うことができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		安定した119番通報の受信と通信体制を維持することで市民の安全安心を確保している。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	消防通信指令管制システムの老朽化				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		消防通信指令管制システムの継続使用の検討			
R4年度の目標	消防通信指令管制システムの安定稼働				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		消防通信指令管制システムのリース保守契約による適正な維持管理			

令和4年度	部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当グループ名	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202		
	部等長名	金澤 英雄	課等長名	井上 隆二	リーダー名	主幹	久藤 裕之	担当者名	主任	野上 孝之
令和3年度	部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当グループ名	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202		
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	池田 篤司	リーダー名	主幹	久藤 裕之	担当者名	主任	野上 孝之

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	22113	松山圏域消防指令センター整備事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実				市長公約	311	みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります		
取り組みの柱	消防救急無線や映像伝送機器、消防通信指令管制システムなどを活用し、情報収集・伝達能力の向上を図ります。						いざというときに助け合うため、これまで築いてきた地域防災体制や災害の教訓を生かし、地域防災力をさらに高めます。小学生から高齢者まで切れ目のない防災リーダーを育成するなど、官民学が一体になって、将来にわたる地域防災の担い手を確保します。		
総合戦略	4411	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	① 松山圏域(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町及び砥部町)が連携し、それぞれの地域が持つ特色を生かした魅力ある圏域づくりを進めることで、圏域の人口減少に歯止めをかけ、将来に向けて持続可能な地域社会の形成を目指します。			
		政策	④近隣地域との連携による経済・生活圏の形成						
		施策	①連携中枢都市圏構想の推進						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第6条								

事業の目的(どのような状態にするか)	松山圏域の3消防本部で、緊急時の119番通報の受信と消防隊や救急隊への出場指令、無線統制等の消防指令業務の運用を共同で行う「松山圏域消防指令センター」を整備する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	共同運用を行うことで、スケールメリットにより業務が効率化され、各市町村の経費が削減できるとともに、消防本部間の連携と情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制の充実強化を目指す。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山圏域の3消防本部で、緊急時の119番通報の受信と消防隊や救急隊への出場指令、無線統制等の消防指令業務の運用を共同で行う「松山圏域消防指令センター」を整備する。 ・3消防本部…松山市消防局(松山市)・伊予消防等事務組合消防本部(伊予市、伊予郡松前町、伊予郡砥部町)、東温市消防本部(東温市) ・設置場所…松山市消防局 5階 ・運用開始…令和6年4月の予定								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	令和	3	～	令和	6	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消 防 費		目	消防施設費	R3 予算措置時期	当初
				項	目				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					0		19,500		547,119
決算額(B)(単位:千円)					0		17,724		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		11,100		418,500
	その他				0		4,998		128,530
	一般財源				0		1,626		89
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算						システム調達支援業務委託:16,170千円	消防指令システム構築業務委託:450,162千円 通信指令室内部改修工事:28,048千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等						流用による減あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	0		1,776		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山圏域消防指令センターシステムの調達仕様書の作成								
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など		当初の計画より安価かつ効率的に成果を上げることができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		共同運用を行うことで、スケールメリットにより業務が効率化され、各市町村の経費が削減できるとともに、消防本部間の連携と情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制が強化される。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	松山圏域消防指令センター構築に伴う消防救急デジタル無線の更新				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		松山圏域消防指令センターで使用する消防救急デジタル無線の設計		
R4年度の目標	新設する「松山圏域消防指令センター」に必要なシステム機器の検討と導入				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		新消防指令システムと新消防0Aシステム構築業者決定とシステム構築 新消防救急デジタル無線の設計		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	消防指令システム調達仕様書の作成	割合	目標値	-	-	100	-	-	目標値	100	
			実績値	-	-	100	-	-	達成年度	R3年度	
		%	達成度	-	-	100	-	-			
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	消防指令システム調達仕様書の完成				
	本指標の設定理由	消防指令システムの仕様決定を示す指標									
	消防指令センター庁舎の改修	割合	目標値	-	-	0	100	-	目標値	100	
			実績値	-	-	0	-	-	達成年度	R4年度	
		%	達成度	-	-	0	-	-			
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	消防指令センターの整備に必要な庁舎改修の完了				
	本指標の設定理由	消防指令センターを整備するための既存庁舎の改修状況を示す指標									
	消防指令システムの整備	割合	目標値	-	-	0	30	70	目標値	100	
			実績値	-	-	0	-	-	達成年度	R5年度	
%		達成度	-	-	0	-	-				
指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	消防指令センターに必要な消防指令システムの整備完了					
本指標の設定理由	消防指令システムの整備状況を示す指標										
成果指標 (3つまで設定可)	119番通報の受信地域整備	割合	目標値	-	-	0	0	0	目標値	100	
			実績値	-	-	0	-	-	達成年度	R6年度	
		%	達成度	-	-	0	-	-			
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	松山圏域3消防本部の管轄地域からの119番通報の受信				
	本指標の設定理由	松山圏域3消防本部の管轄地域からの119番通報を確実に受信する。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	消防指令センターに必要な消防指令システムの調達仕様書の作成を完了した。									
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容											